

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 観光資源の活用促進
-----	-------------

施策主管課	観光交流課	総合計画記載頁	134ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	20 魅力ある観光と交流を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	新たな資源が発掘、活用され本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民も自らの地域に誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れ楽しんでもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。
------	----------------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

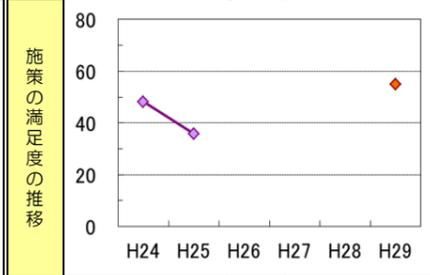
2 施策の取組状況

施策目標	人、産業、文化・スポーツなど、本市の優れた資源が観光に生かされ、本市の魅力が高まっています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	年間入込客数(千人)	単年度目標値	13,761	13,995	14,250	14,500	14,750			15,000	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	48.2%	35.9%			
現状値			13,531	実績値	13,145	13,752														
目標値(H29)			15,000	単年度の達成度	95.5%	98.3%														
指標2	年間入込客数(千人)	単年度目標値							A	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B									
		現状値		実績値																
		目標値(H29)		単年度の達成度																
指標3	年間入込客数(千人)	単年度目標値							A	【参考】中核市等との水準比較	観光客入込客数/市民1人		H24	H25	H26	H27	H28	H29	B	
		現状値		実績値																
		目標値(H29)		単年度の達成度																
										中核市平均		16.3	15.4							
										実績値		26.3	24.7							
										中核市での本市の順位		4位/41市中	6位/41市中							
										中核市平均										
										実績値										
										中核市での本市の順位										

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 逓増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (±5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・平成24年に策定された観光立国推進基本計画においては、国内外の多様なニーズに応えるため地域の特性や資源を活用したニューツーリズムの推進、受入体制の強化が必要とされており、消費者への訴求力を一段と向上させるため、地域による情報発信の強化、旅行会社との連携強化等による流通の促進が推進されている。 ・栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査によると、県への観光客入込数は平成23年に震災の影響で大きく減少したが回復傾向にあり、平成25年は約8543万人と過去最高値である平成22年の実績を超えた。	市民満足度	・市民の施策の満足度においては、対前年度比12.3%減少しているが、誘客促進に向けた各種取組により入込客数は震災前の水準を上回った。 ・今後、観光資源の活用に係る各種取組とその効果を市民に向けて積極的にアピールすることにより、施策に対する市民の満足度の向上を図っていく。	総合評価	73点
施策指標	・平成25年の宇都宮市観光動態調査において、入込客数は対前年比4.6%増加し、震災前の水準を超えており、宿泊客数についても対前年比6.6%増加している。これは、「餃子」をはじめとした地域資源を活用したイベントの開催や誘客キャンペーンに積極的に取り組んできたことによるものである。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	広域観光宣伝事業(負担金)	★	・広域観光事業の推進	栃木県観光物産協会、栃木県国際観光推進協議会、「やすらぎの栃木路共同宣伝協議会	・広域的な観光資源開発、宣伝PR等の実施	計画どおり	839	H18		本市の誘客促進を図るため、近隣市町と連携・協力しながら広域観光ルートを開発するとともに、誘客宣伝活動を展開することで本市を拠点とした広域観光を推進する。
2	MotoGP活用事業補助金		・広域観光事業の推進	MotoGPプレイベント実行委員会	・MotoGPプレイベントの実施 ・MotoGPを活用したPR	計画どおり	500	H24		本市への国内外からの誘客促進とイメージアップを図るため、世界各国から選手や観客が来場する「MotoGP日本グランプリ」を活用し、関係市町と連携しながらPR活動を展開するなど、広域連携事業の活性化を図る。
3	観光宣伝事業		・多様な手段による観光情報の発信	首都圏等在住者	・観光宣伝用ポスター掲出、観光パンフレット(るるぶ宇都宮)製作、配布ほか	計画どおり	14,556	S59		本市のイメージアップと集客力の向上を図るため、「るるぶ宇都宮」の配布や旅行雑誌への掲載、鉄道事業者へのポスター掲示など、本市の観光資源を活用した効果的な宣伝活動を展開することで、観光情報発信の充実を図る。
4	フェスタin大谷交付金	○★	・大谷地域観光の推進	フェスタin大谷実行委員会	・フェスタin大谷の開催	計画どおり	3,000	H13		大谷地域の振興を図るため、地元住民が主体となったフェスタin大谷の開催を支援するとともに、大谷地域を県内外に向けて広くPRし、誘客促進を図っていく。
5	大谷観光景観形成事業補助金		・大谷地域観光の推進	城山地区総合開発推進協議会	大谷地区、多気地区の美観維持に係る費用(岩肌のつた、雑草除去及び奇岩景観の保全)	計画どおり	1,200	H15		本市の貴重な観光資源である大谷・多気地区の美観維持を図るため、地域による景観事業を支援し、大谷地域の観光を推進する。(植栽事業は平成24年度で補助期間終了)
6	ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金		・地域特性資源の活用促進	ふるさと宮まつり開催委員会	・宮まつりの開催	計画どおり	11,100	S51		「ふるさと宮まつり」は、市内外からの集客力が高く、本市のイメージアップの絶好の機会であることから、引き続き開催を支援し、本市の賑わい創出と誘客促進を図る。
7	うつのみや花火大会実行委員会補助金		・地域特性資源の活用促進	特定非営利活動団体うつのみや百年花火	・うつのみや花火大会の開催	計画どおり	2,500	H19		「うつのみや花火大会」は市内外からの集客力が高く、本市のイメージアップの絶好の機会であることから、引き続き開催を支援し、本市の賑わい創出と誘客促進を図る。
8	とちぎ熱気球選手権活用事業(旧宇都宮バルーンフェスティバル活用事業)		・地域特性資源の活用促進	とちぎ熱気球選手権実行委員会	・熱気球選手権の開催	計画どおり	624	H18		「とちぎ熱気球選手権」は市内外からの集客が期待できるため、観光振興事業として有効に活用し、広域連携により引き続き支援することで、本市の知名度向上や誘客促進を図る。
9	大谷特性活用支援事業補助金(産業政策課)		・地域特性資源の活用促進	市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP	大谷地域の貴重な地域資源を活用した新たな地域産業等の創出に向けた取組への支援	計画どおり	4,000	H23		大谷石採取場跡地などの貴重な地域資源を活用した新たな産業を大谷地域の振興につなげていくためには、地域内での事業の定着が必要であることから、市農業施策及び観光施策等の関連施策との連携を進めていく。
10	ジャパンカップサイクルロードレースの開催(観光交流課、スポーツ振興課)	○★	・地域特性資源の活用促進(トップレベルのスポーツに触れる機会の創出)	市民等	・ジャパンカップクリテリウム(大通り)の開催 ・ジャパンカップ本選の開催	計画どおり	87,061	H4	トップクラス	アジア最高位のジャパンカップサイクルロードレース及び5周年を迎える中心市街地でのクリテリウムを開催し、大会を通じた国内外への幅広いPRによる本市のイメージアップ、地域経済及び中心市街地の活性化を図るとともに、市民がハイレベルの競技に触れる機会を創出し、スポーツ人口の底辺拡大を図る。
11	プロスポーツチームへの支援・連携	○★	・地域特性資源の活用促進	プロスポーツチーム	・ファン層拡大などに関する広報活動 ・公式戦や練習等に関する活動環境の向上ほか	計画どおり	0	H18		本市で活動する3つのプロスポーツチームの安定的かつ持続的な運営に向けて、地域貢献活動の場、機会を確保するとともに、人的支援を行う。

※No.10及び11については、戦略プロジェクト「Project7 ④プロスポーツを活用した地域の活力と都市の魅力の創造」に該当

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆観光スタイルの変化に伴う観光ニーズの多様化や北関東道の開通による旅行圏域の拡大など、環境の変化に対応した観光事業の展開が必要である。</p> <p>◆本市を代表する餃子や大谷石採取場跡、大谷資料館などの既存の観光資源に、本市の歴史や文化の要素を加えるなど、「プラスワン」の付加価値による取組みが必要である。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆平成25年4月に策定した観光振興プランに基づき、餃子や大谷をはじめとした観光資源の活用促進や体験型・産業観光の推進、プロスポーツやグリーン・ツーリズムをはじめとする着地型観光の促進、広域連携による旅行商品の開発など、具体的な事業展開に向け取り組む。</p> <p>◆自転車などのスポーツを活かした観光誘客などの新たな取組を展開するなど民間事業者と連携しながら、さらなる誘客を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆観光資源の活用促進にあたっては、スポーツツーリズムやグリーンツーリズム、着地型観光の推進など、観光振興プランにおける12の重点事業等に関して、事業戦略の検討や具体化、各団体との調整等を図り、本市の誘客促進に向け、官民一体となって効果的に事業を推進する。</p> <p>◆ジャパンカップサイクルロードレースについては、クリテリウム5周年イベントの実施、レースの充実に加え、本市の観光資源と組み合わせたツアーの実施などにより、さらなる誘客促進を図る。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>